

市民・事業者アンケート調査結果報告（概要）

1. 調査の概要

（1）調査の目的

本調査は、平成20年3月に策定した高松市環境基本計画（平成20年度～平成27年度）の計画期間終了にともない、次期環境基本計画を策定するにあたって、市民の皆様や事業者の方々が日ごろ環境全般について感じていること、市の環境行政に対する意見・要望についてお聞かせいただき、今後の運営及び次期環境基本計画の策定に反映させることを目的として実施したものです。

（2）調査の対象

① 市民アンケート

住民基本台帳をもとに、無作為に抽出した18歳以上の市民1,000人

② 事業者アンケート

業種別電話番号データから無作為に抽出した高松市内の300事業所

（3）調査の実施方法

実施期間：平成26年9月25日（木）～10月10日（金）

配布及び回収方法：郵送

※市民アンケートは、再度協力依頼を行い、12月25日（木）まで延期

	送付数	回収数	回収率
市民	1,000	458	45.8%
事業者	300	149	49.7%

（4）主な調査項目

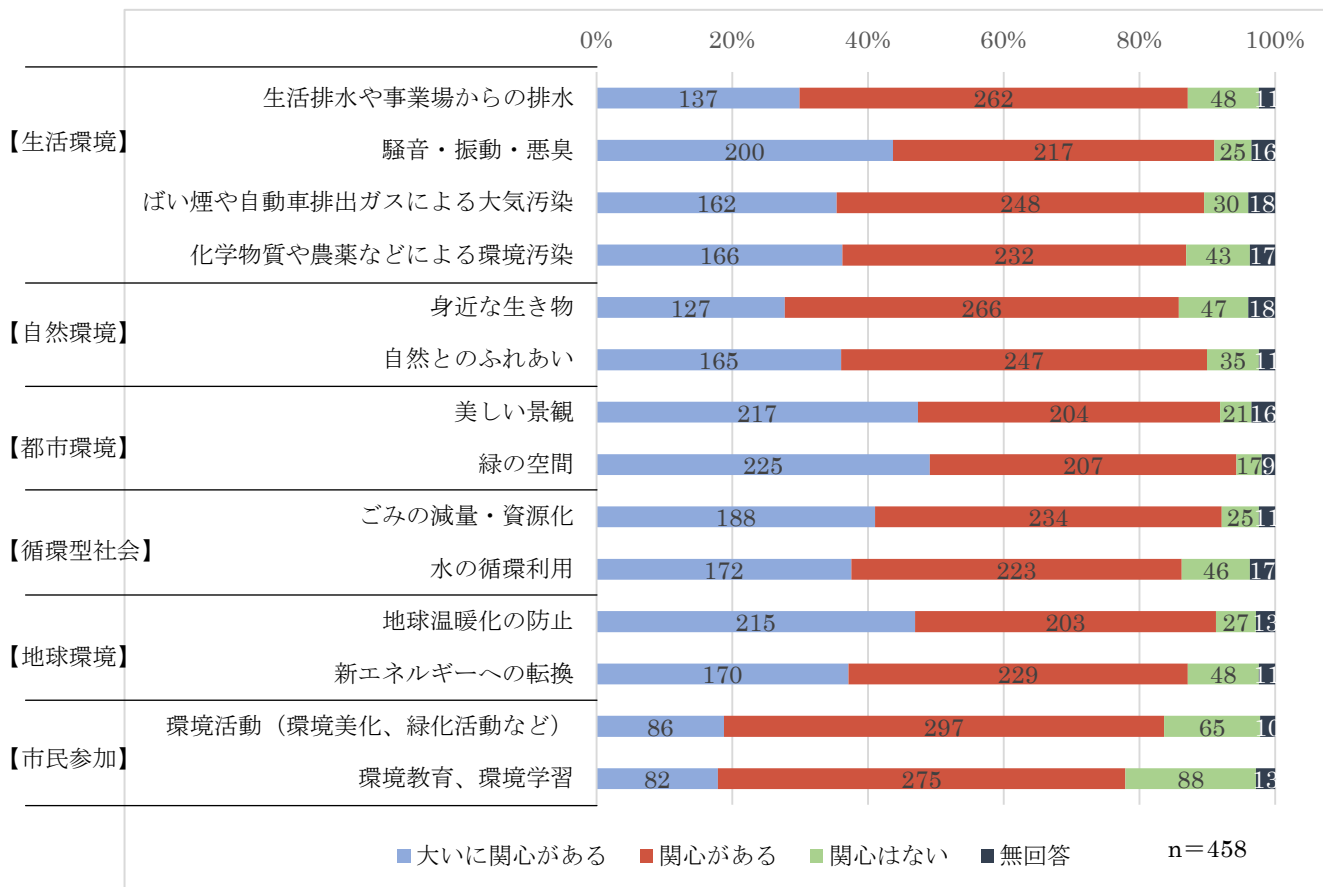
下記のような項目に関する設問を設定しました。意識調査とともに啓発の効果も期待したものです。

- ・ 環境についての関心度
- ・ 環境に対する評価
- ・ 環境保全に関する取組、行動の状況
- ・ 市の取組について
- ・ 環境の面からみたまちづくり
- ・ 高松市の環境の将来像
- ・ 環境全般についての意見・要望など

2. 市民アンケート

(1) 環境についての関心度【報告書 P5 問 1】

14 の環境項目について、どのくらい関心があるか聞きました。



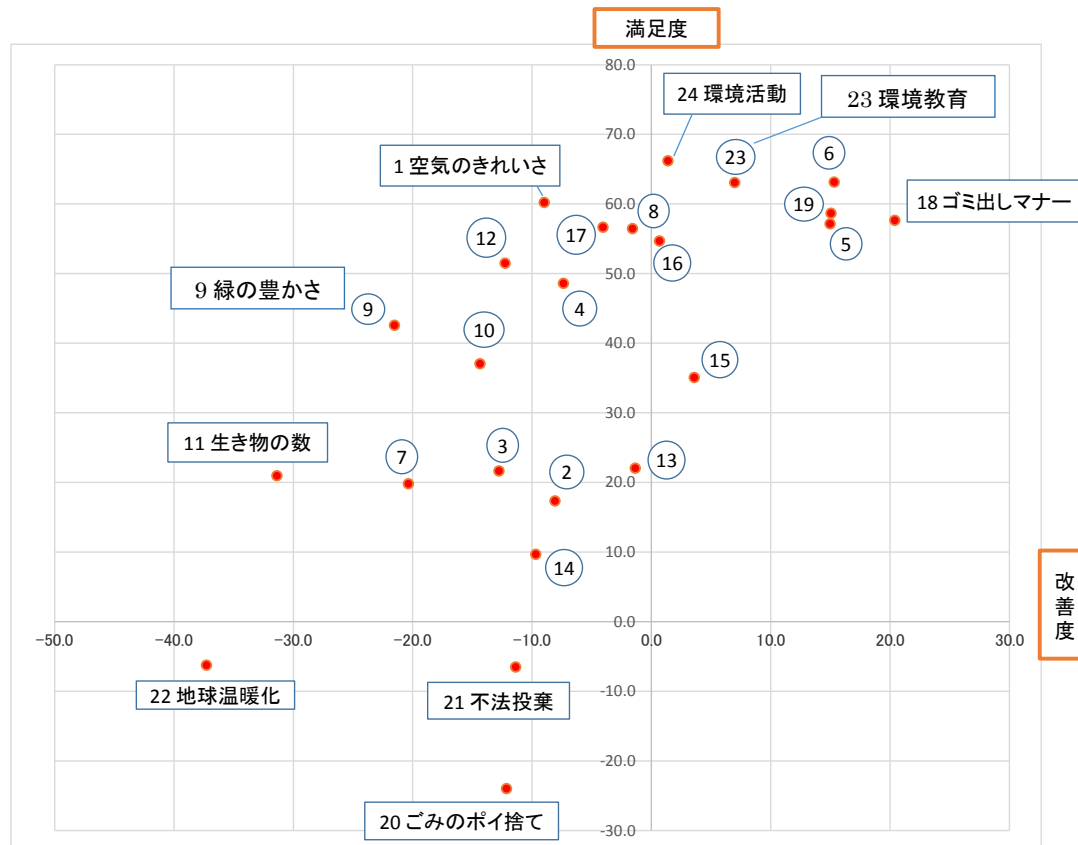
各項目に高い関心を持たれていることがうかがえますが、市民参加の項目（環境活動、環境教育・環境学習）が他と比較して関心度が低くなっています。

都市環境に関する項目は、関心度が高い結果となっています。

(2) 環境に対する評価（改善度・満足度）【報告書 P6 問 2】

お住まいの地区を中心とした環境について、ここ数年での「改善度」と、現在の「満足度」を聞きました。

改善度・満足度評価散布図



1	空気のきれいさ	13	快適な歩行・自転車利用の空間
2	河川や池のきれいさ	14	公共交通の利便性
3	海のきれいさ	15	ゆとりの空間(公園や運動場など)
4	土壌汚染の状況	16	自然や緑と調和したまち並み
5	安定した水資源の確保	17	歴史的・文化的遺産と調和したまち並み
6	水の循環利用と節水の推進	18	ごみ出しのマナーや分別収集
7	騒音や振動の状況	19	ごみの減量・リサイクルの推進
8	悪臭の状況	20	ごみのポイ捨て
9	野山や森林、田畑などの緑の豊かさ	21	廃棄物の不法投棄
10	海や川など、うるおいのある水辺空間	22	身近で感じる地球温暖化の現状
11	動物、虫、魚など身近な生き物の生息数	23	地域や学校での環境教育
12	身近な自然とのふれあい	24	環境活動への参加

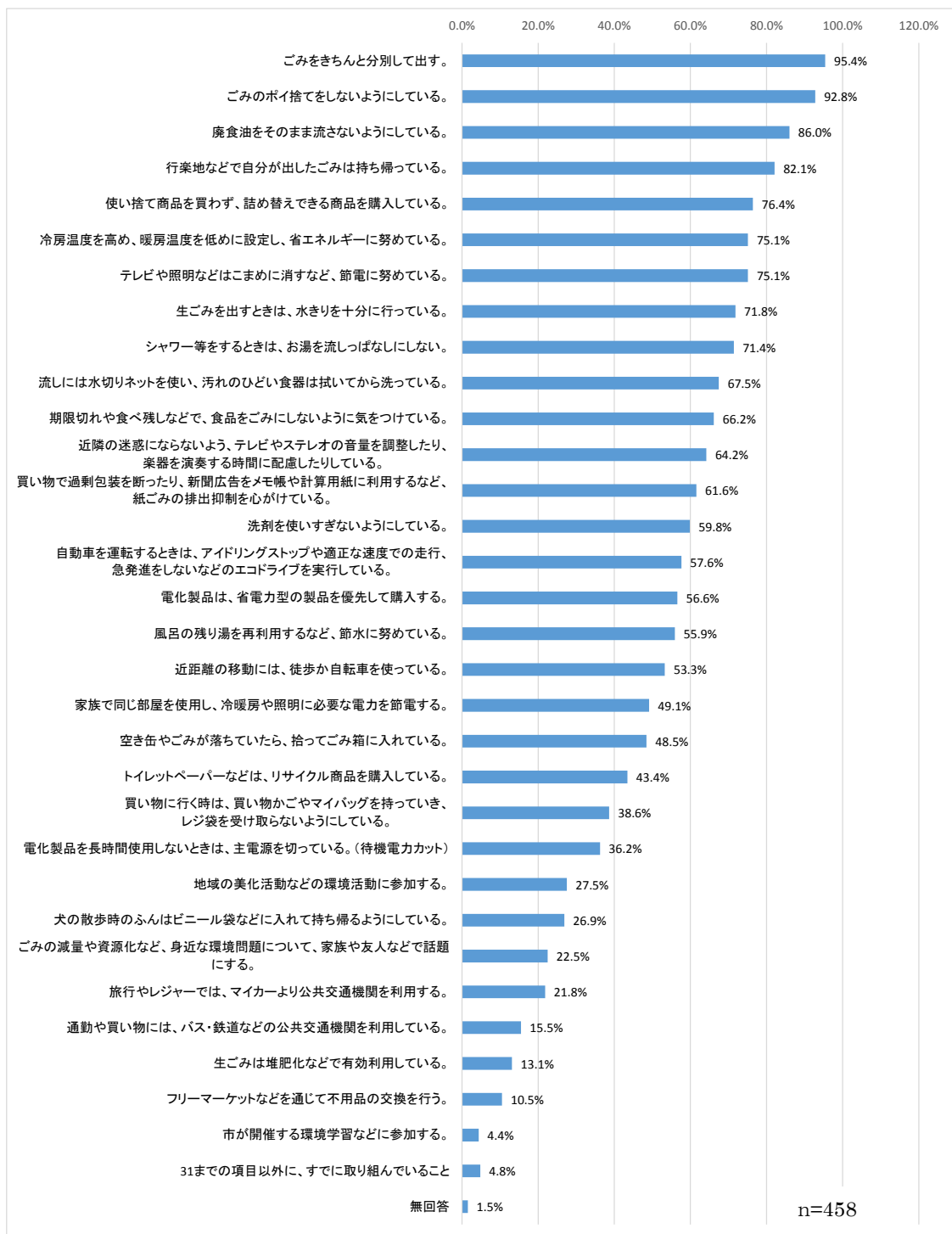
※ 改善度の評価は、良くなった〈+1〉点、変わらない〈0〉点、悪くなった〈-1〉点として、満足度の評価は、大いに満足〈+2〉点、満足〈+1〉点、不満〈-1〉点として、指摘率にかけて合計点を求めた。

改善度・満足度ともに高い項目としては、「環境活動」「環境教育」があがっています。「ごみ出しのマナー」も改善度・満足度ともに高くなっていますが、一方で、「ごみのポイ捨て」「不法投棄」が改善度も満足度も低い評価となっています。また、「緑の豊かさ」「生き物の数」などの自然環境は、「良い環境ではあるが、以前の方が良かった」と評価していることがうかがわれます。

(3) 環境保全に関する取組、行動【報告書 P16 問 3】

環境保全に関する取組 31 項目から、市民のかたがすでに取り組んでいることを選択する設問を設定しました。

複数回答・回答数降順並び替え

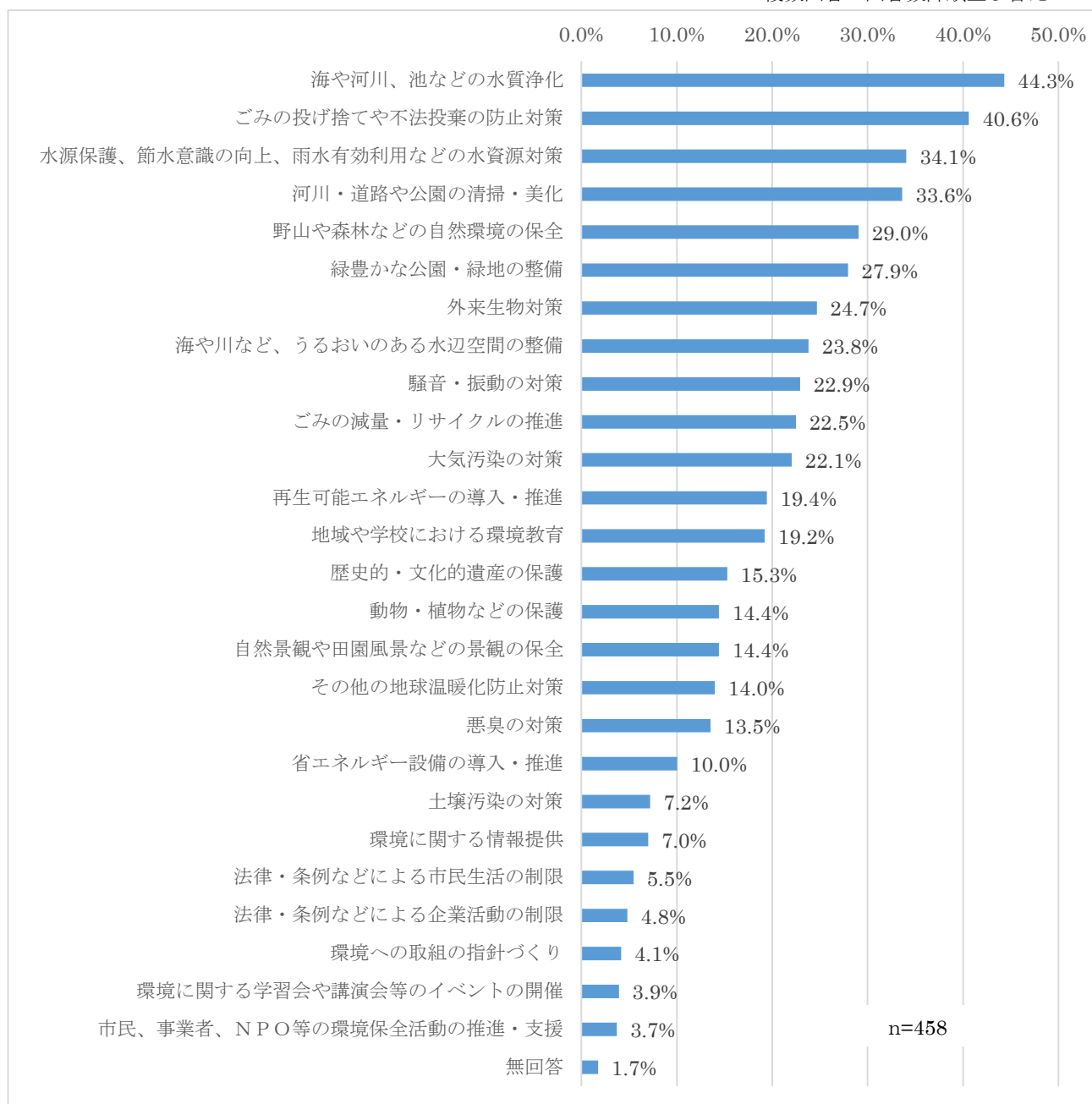


「ごみをきちんと分別して出す」「ポイ捨てをしない」が選択率90%以上でした。節水に関する行動は、目立って高い選択率ではありませんでした。また、「環境学習への参加」が4.4%と最も低い結果となっています。分野ごとに分けてみると、実践度の高い方から「ごみ」「省エネ・省資源」「環境活動や環境学習」となっており、日常の身近な取組項目が高い選択率となっています。

(4) 市の取組に対する要望【報告書 P22 問7】

市の取組 26 項目から、特に力を入れてほしいものを 5 つ選択する設問を設定しました。

複数回答・回答数降順並び替え



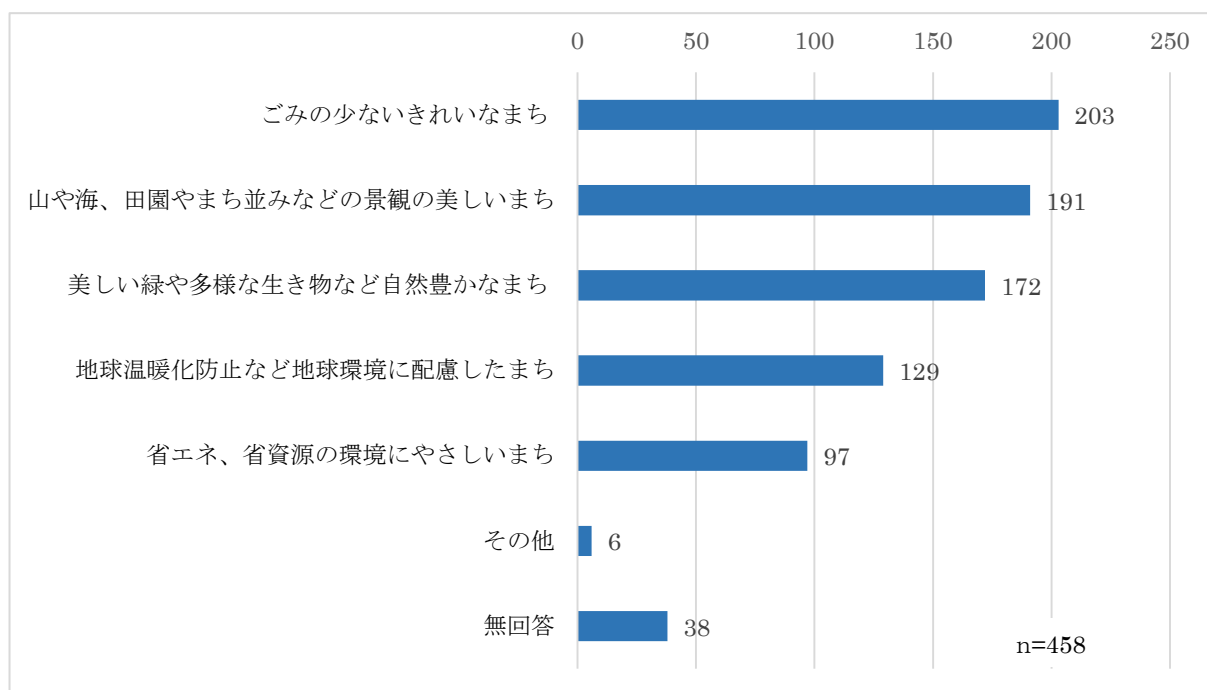
選択率 30%以上で上位の項目は、「海や河川、池などの水質浄化」「ごみの投げ捨てや不法投棄の防止対策」「水資源対策」「河川・道路や公園の清掃・美化」でした。問3の項目の中で、節水に関する行動は、目立って高くはありませんでしたが、施策として水資源対策の要望が高い点は、本市の特性が表れています。

下位の項目は、「環境に関する情報提供」「法律・条例による制限」「環境に関するイベント」「環境保全活動の推進・支援」などです。この傾向は、他市町の意識調査でもほぼ同様の結果となっており、空気や水、ごみなど目に見えるものに対する直接的な対策項目と比較すると、間接的で効果も見えにくい施策項目は低くなります。

(5) 環境の面からみたまちづくり【報告書 P27 問9】

環境の面から、高松市がどんなまちづくりを行なっていけばよいか、5項目から2つを選択する設問を設定しました。

複数回答・回答数降順並び替え



「ごみの少ないきれいなまち」の回答が最も多く、次いで「景観の美しいまち」となっています。「きれいなまち」「美しいまち」に対する意識の高さがうかがわれます。

(6) 高松市の将来像、イメージ【報告書 P31 問11】

将来の高松市がどうなっていると良いと思うか、住み続けたいと思う「高松市のイメージ」を自由に回答してもらった設問を設けました。

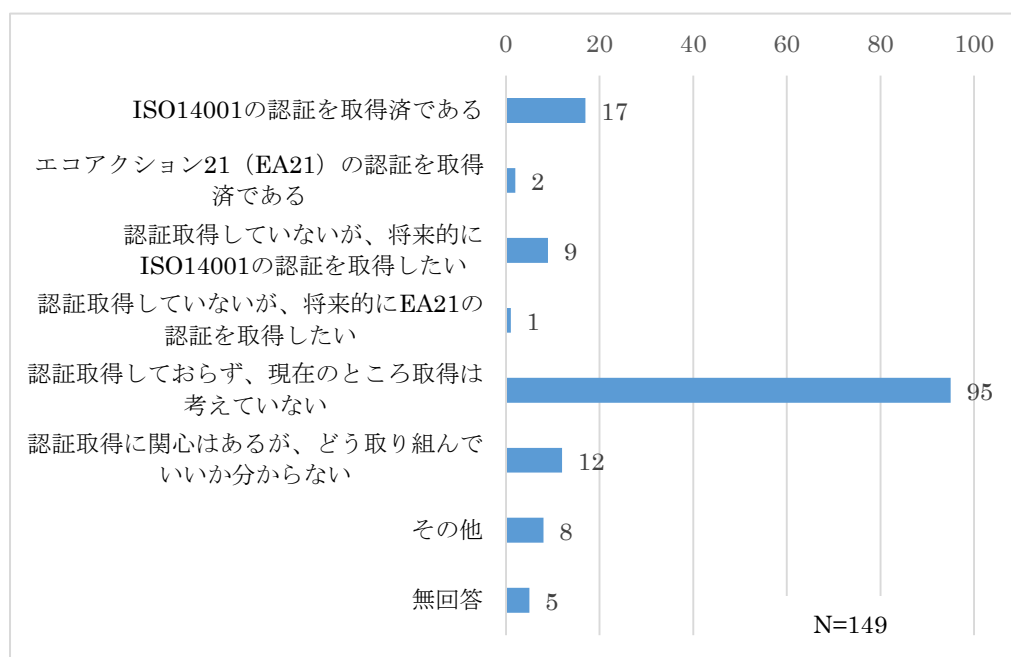
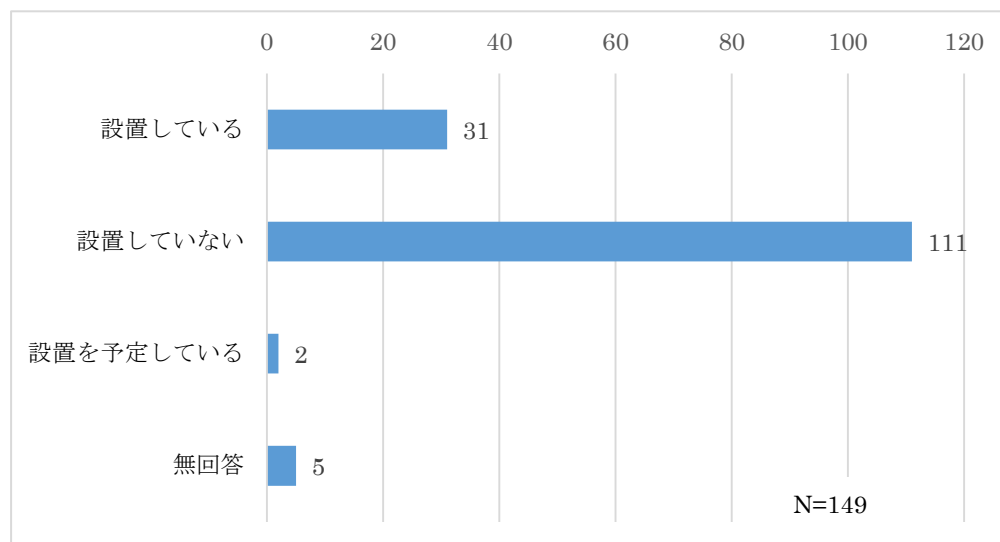
イメージとしては、「きれい」「美しい」のほか、「清潔」「明るい」「活気ある」「瀬戸内海」「自然豊か」「緑」などのキーワードが多くあがっています。

また、全体を通して「ごみのポイ捨てや不法投棄」の問題意識が目立ち、苦情・苦言も見受けられますが、市民の想いとしては、今が悪くから良くしてほしいということよりも、『今の美しい自然やきれいな街、自然や田畑、田舎らしさをそのまま大切にしながら、さらに良くしていきたい』という点に真意があるように感じられます。

3. 事業者アンケート

(1) 環境に関する取組状況【報告書 P53 問 1、P54 問 2】

環境関連の業務や作業を取り扱う部署を設置しているか、ISO14001 など環境マネジメントシステムの認証を取得しているかどうか聞きました。



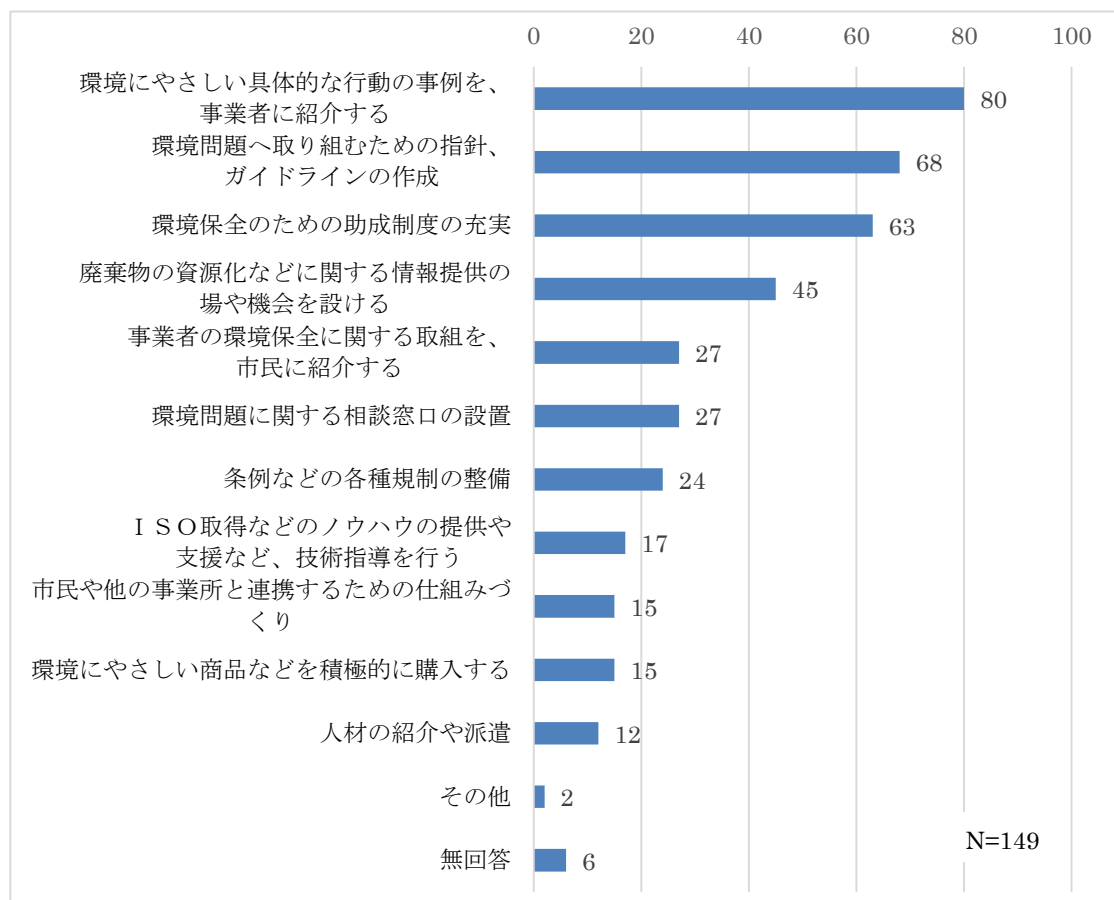
アンケートの結果からは、積極的に取り組まれており、環境問題の意識が高いことがうかがわれます。その要因として、まず、事業者アンケートの回収率が 49.7%と高い点です。回収率が 20 数%の調査例はあります。

また、今回の調査は、企業規模を抽出条件としていないため、前回調査に比較して企業規模の比較的小さい企業も多くなっていますが、ISO14001 とエコアクション 21 の認証取得済が 19 件 (12.8%)、さらに取得希望が 10 件 (6.7%) の回答となっています。

(2) 市への要望【報告書 P62 問 10】

市の取組 11 項目から、特に力を入れてほしいものを 3 つ選択する設問を設定しました。

複数回答・回答数降順並び替え



事業者の要望として、「具体的な行動の事例を事業者で紹介する」が半数を超えて最も高い項目となっています。次いで「指針、ガイドラインの作成」、「環境保全のための助成制度の充実」となっています。

4. 主な課題と要望

(1) 水資源、水環境

市への取組の要望として、「海や河川、池などの水質浄化」「水源保護、節水意識の向上、雨水有効利用などの水資源対策」が高い回答率となっています。

自由意見では、大雨、台風時の道路の冠水対策の要望や、河川の土砂の堆積などによる増水の不安があります。

(2) ごみのポイ捨て、不法投棄

市の取組の要望として、水の問題と並んで、「ごみの投げ捨てや不法投棄の防止対策」があがっており、それと関係する要望として「河川・道路や公園の清掃・美化」があがっています。

(3) 美しい景観、自然環境の保全

アンケートの回答の全体を通して「きれいなまち」「美しい景観」を創造し、将来に継承していくべきだという想いが表れています。

(4) 道路・交通

アンケートの改善度では中位程度の位置で、満足度は低い状況です。

(5) マナー、モラルの啓発

ポイ捨てや不法投棄、交通、自然保護、美化など多くの環境課題への対策には、市民一人ひとりの意識の高揚と実践力の向上が不可欠です。

(6) 環境に関する情報発信

事業者の要望として、「環境問題への対処方法など具体的な情報」があがっており、市民からは、「環境行政について知らせてほしい」という回答も寄せられています。

情報の質や量、効果的に情報を届ける方法など、改善を継続していくことが求められます。